

市長・議長 新年の



朝来市議会議長
梶原博司

活力ある朝来市の
将来に向けて

新年明けましておめでとうございませう。輝かしい初春をご家族お揃いで迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、北近畿豊岡自動車道春日・和田山間の開通、埋蔵文化財センターと道の駅「但馬のまほろば」の本格的オープン、「ケアハウス朝来」の開設さらには、のじぎく兵庫国体の開催など、朝来市にとりましては総じて明るい話題の多い年でした。

一方、国民生活に目を向けますと、「勝ち組・負け組」という言葉に代表される所得、生活水準及び地域間の格差の拡大など、国による三位一体改革や地方分権の推進に伴う「負の遺産」ともいわれる、さまざまな社会現象が生じていて、これらの是正に向けた国の政策が早急に求められています。

地方分権改革推進法が昨年十二月に成立し、改革の二期目として、さらに国から地方へ権限が移譲されると、自治体に行ける行政はすべて自治体で行うなど「地方の時代」が進み、自治体間格差の発生も予想されることから、市民・行政・議会が一体となって市政の発展と福祉の向上に最善を尽くさなければなりません。

さて現在、財政収支の黒字化を目指す「歳出・歳入一体改革」の取り組みが具体化され、地方においても公務員人件費の削減や地方単独事業の抑制な

ど歳出削減が求められています。朝来市では、実質公債費比率は一五・七％と地方債発行の制限を受ける一八％を下回っていますが、行財政改革を進め財政の健全化に一層努めなければなりません。

また、厳しい財政状況下ではありますが、高齢化が進む中での地域医療、雇用確保のための企業誘致、安定した財源確保など、市民の皆様の福祉向上や豊かで安心・安全な地域社会の創生のためにも、合併特例債の活用も含めた有効な施策の選択が必要と考えます。

さらに、朝来市では合計特殊出生率が一・六三（平成十七年十月）と全国平均を上回っていますが、子どもを取り巻く環境は大変な状況になってきています。将来を担う子どもたちが安全で安心な社会の中で育つことができるような条件を整えることは、各家庭はもちろん、学校・地域・行政が真剣に取り組んでいかなければならない重大な課題となっております。

議会といたしましても「活力ある朝来市づくり」に全力で取り組みます。一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様にとりまして最良の年となりますようご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。